１２月の園だより

https://jyozan-k.com

Ｒ８．１１．２４
幼保連携型認定こども園
城　山　幼　稚　園



気候のいい日もあっという間に過ぎ、早いもので年の瀬のあわただしさが感じられる師走を迎える頃となりました。最近は、朝夕の寒暖差も激しくなり体調を崩す子どもたちがいるようです。朝から体調が悪い場合は、無理に登園せずに体調を整えてから登園されるようご協力お願い致します。また、ご家庭でも手洗いうがい等を励行して、健康管理には十分気をつけ元気に過ごしていきましょう。

◆１２月の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	火	熊本西高校英語クラブ来園
2	水	
3	木	
4	金	おたのしみ会準備　お弁当デー
5	土	おたのしみ会
6	日	
7	月	面談期間（～12/22）
8	火	サッカー体験（ゆり）　PM算数教育研究調査
9	水	体験入園①
10	木	おとなJBS
11	金	スクールソーシャルワーカー来園
12	土	土曜預かり保育
13	日	
14	月	
15	火	預かり保育料封筒配布
16	水	預かり保育料納入期間　避難訓練（火災）
17	木	
18	金	体験保育
19	土	土曜預かり保育
20	日	
21	月	
22	火	冬至
23	水	おとなJBS
24	木	クリスマス会　終業式
25	金	冬休み預かり保育
26	土	土曜預かり保育
27	日	
28	月	冬休み預かり保育　御用納め　保育料振替日
29	火	
30	水	
31	木	大晦日

※平日の預かり保育は、利用週の前週の金曜日が提出期限です。
※土曜日の預かり保育は、利用週の木曜日が提出期限です。

冬休み預かり保育について

年末の預かり保育は、１２月２５日（金）
２６日（土）
２８日（月）
年始の預かり保育は、　１月　４日（月）
５日（火）
６日（水）
７日（木）

上記の日程で、希望者・冬休み預かり保育を行います。預かり保育ご希望の方は、下記QRコードからお申込み下さい。

１２月１日（火）〆切
締め切り後の受付は行いませんのでご注意下さい。

※冬休み預かり保育は700円（1号認定のみ）土曜日預かり保育は（1号認定700円、２号認定300円）の14:30降園です。14：30以降の預かり保育は別途500円が必要になります。
（１号認定のみ）
※不明な点は職員へお聞き下さい。

R8冬預かり



お知らせとお願い

○１月（前半）の日程について
８日（金）始業式、鏡開き会
１２日（金）面談開始（～１/２２）
１３日（水）記念写真撮影（全園児）※３４５歳児は、白ポロシャツ着用

○延長保育（18時15分～18時45分）について
重要事項説明書等でもお伝えしております通り、当園の保育教育時間は、7時15分～18時15分の間最大１１時間開所ということで熊本市から認可を受け運営しております。ただ、保護者の方のお仕事の事情や突発的な用事を考慮して、平日のみ18時45分まではお預かりできる体制を整えていますが、閉園時間は18時15分ですのでお迎えは原則18時15分までにお願い致します。18時15分を過ぎる場合は、お手数ですが必ずご連絡ください。ご理解とご協力の程よろしくお願いします。

おたのしみ会の意図☆☆☆

「おたのしみ会」という行事について、プリントや職員のブログ等でお伝えしておりますが…この行事は、教育保育要領に示されている保育の内容５領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」における、**「言葉」「表現」の発達**を中心に、保護者の皆様に見てもらうものです。子どもたちの発達段階において、その時期の発達をしっかり遂げられるよう各stage、日々環境を整えています。
おたのしみ会一日で、そのすべてをお見せすることはできませんが、運動会同様、お子様の昨年の姿からどのように成長しているのか、そして今のありのままの姿を楽しんで見て頂ければ幸いです。
教育保育要領をもとに、各発達段階における表現面での子どもたちの姿をまとめてみました。参考にされてください。

【０・１歳児】
☆保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、表情、発声、体の動きなどで、感情を表現する。
☆自ら言葉を使おうとしたり、一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。
☆動物や乗り物などの動きを模倣して、体で表現する。
☆お集まりの際、並べられたいすの中から、貼ってある写真によって自分のいすを見つけて座る。

【２歳児】
☆「みんなで一緒」仲間と群れることを楽しむようになる。　☆日々の生活の中で「待つこと」「順番」「貸し借り」「一緒」「我慢」などの力がついてくる。
☆音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。

【３歳以上】
☆「遊び」自体が子どもにとっての「表現」。絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。
☆「意識して」表現するようになる。その意識が何かに刺激されて意欲が生まれる。そこに大きく影響しているのが「少し年上の子からの刺激」異年齢保育で互いに多くの刺激を受けながら日々を送っている子どもたちの表現は様々。